

北海道のほぼ中心に位置する南富良野町は、北海道の母なる川の一水系がここから生まれる、森林地帯に囲まれた風土の中にあります。歴史的にみて林業で栄えた町です。このプロジェクトは、適切な森林整備事業を行うことで吸収されるCO2由来のカーボンオフセット料金を、地域の持続的な森林整備事業にフィードバックすることで、さらなるCO2吸収効果を地域の森林資源に付与します。

プロジェクトの実施場所	南富良野町
吸収量(予測)	年間 458 t-CO2
在庫量	1,642 t-CO2(2012年7月時点)
クレジットの次回発行予定	2012年3月
1t-CO2あたりの希望単価	要相談

豊かな森林資源を有する南富良野町では、地域の森林生態系サービスを賢明に活用することが、地域コミュニティの持続に資するという考えを基に『山づくりは町づくり』というコンセプトを掲げています。森林生態系サービスにはCO2の吸収もありますが、南富良野町ではそれだけではありません。地域の自然史には日本最大の淡水魚であるイトウや、最大の陸棲哺乳類であるヒグマ、世界最大のフクロウ:シマフクロウが生息する環境があり、アウトドア観光も盛んです。このプロジェクトは南富良野町の豊かな自然環境を背景にした森林産業『協奏曲』のひとつの部分であり、クレジット購入者にとってのベネフィットはCO2排出量の削減に留まりません。南富良野町との繋がりを持って頂くことで、地球環境への想像力を刺激する潜在力を秘めています。



『南富良野はカーボン・オフセットと想像力』

■担当者連絡先: komuro@town.minamifurano.hokkaido.jp  
南富良野町役場産業課 主幹 小室 伸幸